

<b>G I G A スクール構想の実現</b> 令和元年12月19日閣議決定 令和時代のスタンダードとしての学校ICT環境を整備し、すべての子ども1人ひとりに最もふさわしい教育	<b>学校教育の情報化の推進に関する法律（令和元年法律第47号）</b> 教育の情報化に関する手引き 文部科学省 令和元年12月	<b>小学校プログラミング教育の手引き（第三版）</b> 文部科学省 令和2年2月	<b>「AI戦略2019」（有識者提案）</b> 内閣府 平成31年3月29日	<b>第3期教育振興基本計画</b> 平成30年6月15日閣議決定	<b>小学校・中学校学習指導要領</b> 文部科学省 平成29年3月 第1章 総則 第2 教育課程の編成 2 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成 (1) 各学校においては、児童の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことできるよう、各教科等の特質を生かしつつ、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。	<b>松田町第6次総合計画【前期計画】（令和元年度から令和4年度）</b> 第2部 まちづくりアクションプログラム 第2編 まちづくりアクションプログラム（部門別計画） 第2章 質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち（教育・文化） 1. 幼児教育と学校教育 【実行計画】 施策⑤ 情報教育の充実 松田町教育大綱 令和元年～令和4年 【めざす子どもの姿】 一人ひとりが自らの可能性を最大限に発揮して、より良い社会と豊かな人生を切り拓いていく力＜自立・創造・共生＞をもった人材の育成
---	--	--	--	--------------------------------------	---	---

施策	内容	令和2年度			令和3年度			令和4年度			
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	
<b>施策1</b> <b>情報活用能力の育成</b> ○児童生徒が、持続可能な社会の構築を実現するための、プログラミング的思考等の問題解決能力を身に付けている。 ○児童生徒が、いつの時代にも誠実に情報活用を行うことのできる、情報セキュリティ・モラルに関する価値判断力を身に付けている。 ○今後の情報化社会に求められる、基本的なICT活用スキル等を身に付けている。	【取組①】義務教育段階でのプログラミング教育の実施を確実に推進し、その成果を近隣市町に発信するとともに、プログラミング教育の指導すべき内容について検討し、カリキュラムを作成する。	カリキュラムを開発	指導すべき内容を検討	カリキュラムの改訂							
	【取組②】児童生徒に情報活用の実践力を育成するための指標を設定するとともに、各教科等における授業事例を収集、整理し、研修や授業指導の場で周知を行う。	近隣市町へ取組を発信	指標の作成	指標の検証・改善	指標の改訂						
	【取組③】時代の状況に応じた指導を全校で行えるよう、「オンライン学習マニュアル（児童・生徒編）」を基盤として、情報セキュリティやモラルの内容をさらに充実させた「オンライン学習マニュアル（保護者・教職員編）（仮）」を作成し、教育の情報化のさらなる推進を図る。	各教科等の授業事例を収集、整理 事例集の作成、周知	「オンライン学習マニュアル」を活用した実践、検証、改訂								
<b>施策2</b> <b>ICTを活用した授業改善</b> ○教員が各教科の授業において、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行うことで、自己の資質・能力を向上させている。 ○教員がICTを活用し、学習指導や評価に関わるデータを適切に収集、管理、活用することで、指導と評価の一体化が達成できている。	【取組①】学習指導要領で求められる、ICTを活用した授業の展開を行うため、教科書を活用した事例集の作成を行い、周知する。	各教科等の授業事例を収集、整理 事例集の作成、周知									
	【取組②】児童生徒が1人1台のタブレット端末を活用する授業研究を行い、GIGAスクール構想の実現に向けた準備を行う。	授業研究の実施、成果と課題の検証、事例集の作成、周知									
	【取組③】ICTを活用した効果的な評価について情報を収集し、その具体的な方法について検討する。	情報収集、方法の検討	実践、成果と課題の検証、方法の工夫と改善								
<b>施策3</b> <b>校務の情報化</b> ○情報漏洩や災害に強く、活用しやすい情報セキュリティの環境システムが構築されている。 ○教員のワーク・ライフ・バランスが改善され、心のゆとりをもって子どもと向き合う時間が確保されている。	【取組①】大規模災害に対するリスク管理のため、外部委託による情報資産データのデータセンター化を推進する。	データセンター化について検討									
	【取組②】教員の多忙化解消のため、テレビ会議システムによる研修システムの構築について検討する。	テレビ会議システムの研修実施	研修の効果や方法を考察	より良い方法への改善							
	【取組③】ワーク・ライフ・バランスの改善をめざした校務の情報化システムの構築を検討する。	情報収集、方法の検討	検討をもとに効果について考察	より良い方法への改善							

**めざす教職員支援** ○教員支援  
 ・ICTを活用した授業法やプログラミングの指導に関わる研修の拡充  
 ・コンピュータアドバイザーの学校支援体制等の改善  
 ・ICTを活用した授業づくりの支援

**環境整備**  
 ・プログラミング用教材等、今後の教育活動に必要なICT機器の選択、導入  
 ・国の定めた教育用コンピュータやネットワークの整備基準をめざした環境整備  
 ・主体的・対話的で深い学びの実現をめざす教員支援の機器やコンテンツの整備  
 ・児童生徒と教員のニーズに応じたコンテンツの提案、導入  
 ・教員のワーク・ライフ・バランスを支援するシステムの検証